

コミュニティ 茨曾根だより

第8号

平成31年3月20日発行

発行：コミュニティ茨曾根
連絡先：新潟市南区3443
茨曾根地域生活センター
Tel 375-2035

協議会の運営・活動は、新潟市の補助金を受けて実施しています。

『茨曾根の魅力再発見』事業

茨曾根地域に伝わるむかし話、むかし語りを集め「地域の宝」として平成5年に編集されたのが「あつたてんがのいばらそね」です。

後世に語り継いでいく手段としてコンクリート製の標柱を立てたのは今から23年前の平成8年でした。以来、標柱は倒れもせず地域の中で児童やお年寄りの体験学習、史跡探訪ハイキングの目印として立派に役割を果たして来られました。

しかし寄る年波には勝たず、文字は消え塗装ははがれるなどの状況が散見されるようになってきました。このような中、市の地域元気の種事業に採択頂き案内看板作成と併せてこの度13本の標柱を修復させて頂きました。

昨年度は旧小須戸町における町屋めぐりガイドがどのような取組みをされているのか、又、資源をどう活かしているのか学びに行つて参りました。

そして本年度は看板作成を実施いたしました。茨曾根小学校4年生の総合学習の一環として勉強した内容や思いを取り入れ、補足を大人が追記という具合にして11本作成し、よみがえった標柱の脇に設置いたしました。

標柱からだけでは伝えきれなかった内容を看板により具体的に理解する、興味を持ってもらう効果が期待されます。地域の宝として再び住民の皆さんから身近に感じてもらい守り伝えて頂ければ幸いです。

あつたてんがのいばらそね

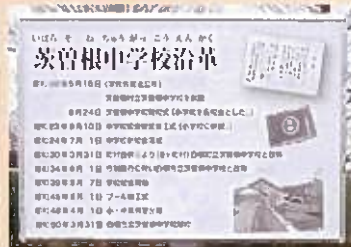


当時、各世帯に1冊ずつ配られました

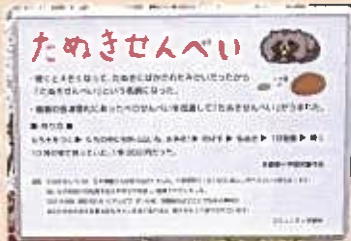
看板作成 [11本]



茨曾根中学校沿革



たぬきせんべい



標柱の修復 [13本]



塗装をし、文字も書き直して見違えるように！

AFTER

採筆 遠育振興者 阿部源太夫の生家

桃の花見茶会

4月19日(土)、清水ふれあいセンター裏の桃畑にて桃の花見茶会が開催されました。お天気と花の開花時期にも恵まれ一面のピンク色の中、遠方からもたくさんの方が来て下さり、多くの人が賑わいました。

イベントスペースではお箏やオカリナの演奏、茨曾根太々神楽保存会の舞、子どもたちの合唱などが行われ、来場者はお茶とともに楽しむ様子が見られました。



太々神楽舞保存会



お茶を楽しむ来場者



白根南児童館 音楽クラブ



お箏演奏

第3回 茨曾根「桃の花」川柳コンテスト 入選作品発表

「桃の花」や「桃」を題材にした川柳コンテストを開催し67作品もの応募を頂きました。入選作品の中から、特選2句、秀逸5句を発表いたします。

選考は、しろね市民大学「川柳と遊ぶ講座」講師の小越龍之介先生にお願いしました。

《特選》 若き娘(こ)の かぐら舞の手 風光る

(評) 若い娘の神楽舞でのしなやかな躍動感がありありと浮かぶとともに下五の「風光る」で、その美しい姿を飾る効果があり、作者の感性がよく伝わってくる。

《特選》 桃の花 春色いっぱい 茨曾根

(評) 美しく仕上げられた句で、誇りに思っている地名を高らかに表現して深い思い入れが伝わってくる。ご当地川柳の代表格とも言える。

《秀逸》 ももの花 スマホで लेकर おすそわけ

《秀逸》 桃の花 かんざしにして 自撮(じど)りする

《秀逸》 桃の花 活(い)けて息災 願う母

《秀逸》 お抹茶に 一ひら桃花 色添えて

《秀逸》 桃の花 土手の千草も 見とれてる

クリーン作戦

7月8日（日）、クリーン作戦を実施しました。茨曾根地区内総勢 252 名の参加により、空き缶やペットボトルなど多くのごみを収集し地区内が大変きれいになりました。



藪の中もきれいに



ごみ分別中

茨 曾 根 夏 祭 り

8月19日（日）、毎年恒例の茨曾根夏祭りが開催されました。例年の開催場所である小学校グラウンドではなく、今年度は茨曾根農村公園駐車場が会場となり、ステージと屋台、お客さんとの距離も近く、より祭り全体の一体感が感じられたようで、たくさんの方から好評の声を頂きました。



メインステージ朝日奈ゆうさん。圧巻の歌声で会場を盛り上げてくれました。花束と茨曾根の枝豆が贈られました。



白根そよ風保育園児の皆さん。元気いっぱい踊りを披露してくれました！



白根南児童館の皆さん。ミッキーマウスマーチの歌に合わせた飾り耳がかわいい！



おそろいのTシャツで樽ばやし。「ダンシングヒーロー」など話題曲も取り入れて楽しませてくれました。



白南中学校「桜嵐ノ舞」。迫力あるよさこいで観客を沸かせてくれました。



ベンチャーズのコピーバンド、その名も「バンチョーズ」！



売れ行き絶好調で休む間もなく焼き続けた美味しい焼き鳥。おかげさまで全部売り切れました～！



ゲームコーナーの様子。楽しく遊ぶ子どもたちで賑わっていました。



大抽選会、いいもの当たりましたか？今年は抽選券 1,000 枚全て売り切れ！大盛況でした。

茨曾根地区コミュニティ懇談会

7月20日(金)、茨曾根地域生活センター2階講堂において茨曾根地区コミュニティ懇談会(区長と語る会)が開催され、渡辺区長、南区担当課長らと活発な意見交換が行われました。内容については以下の通りご報告いたします。

主要テーマ①

公共交通について

(1) 区バス移動、ターミナル化について

区バスを利用して行き先が区をまたいでしまうと、どう行ったらいいのかわからない。

回答：区では皆さんの個々の移動にあわせたマイ時刻表を作っていますので、ぜひ活用ください。

区バス、乗合タクシーの利用状況が少ないと聞か、実際のどのくらいの利用数があるのか。

回答：新飯田・茨曾根ルート of 区バス利用者は年々増えています。

すし、乗合タクシーについても大きくは減っていません。皆さんから使っていただいている状況にあるということです。

バスを利用しやすいように、乗り継ぎや時刻表の整備、ターミナル化を進め、停留所に駐車場を作るなど交通環境の整備により生活の不安を取り除くことが人口対策につながるのではないかと。南区創生会議の中で国道8号を中心としたターミナル化の提案の話はその後どうなっているか。

回答：利用者にとってバスの乗り継ぎや待ち時間は不便だと思いますので、ぜひマイ時刻表を活用して乗り継ぎなどをお問い合わせいただきたいと思います。公

公共交通については、再び電鉄を走らせることは難しいと思っておりますが、川を使った観光としての二次交通は有効と考えています。凧合戦に合わせたウォーターシヤトルの運航実験をやっていますが、秋の果樹時期にあわせた旅行商品としての活用も想定しています。

ターミナル化を含めた交通などの検討の場がいがた南区創生会議です。現在、白根バイパスが出来た時の中心市街地の空洞化対策に取り組んでいるので、もう少し時間をいただきたいと思えます。

(2) 区バスの乗り換えについて

この地区からアグリパークへ自分が行きたい時間に行くということはできない。乗合タクシーもバスと同じで乗り換えが必要。せめて南区の中では、自分の行きたい時間に行きたい所へ乗り換え無しで行けるようなバスの運用ができないものか。

回答：区バスは3台で回しているため、皆さんの要望にあわせたバスを運行することは難しい状況にあります。区バスの運行時間帯に中心部まで来て乗り換えアグリパークまで行くのであれば、区バスは200円かかり、乗合タクシーは複数で乗ると中心部からアグリパークまで行っても300円しかかかりませんので、そういう組み合わせの活用をしていただきたいと思います。



主要テーマ②

地域の茶の間について

地域の茶の間は助成金の使い勝手の悪さや事務手続きが煩雑なためやらないという話もある。補助金の食糧費条件などを和らげて使い勝手良く、人数に関わらずに補助金を出してほしい。柔軟で簡素な事務処理や、人口構成を踏まえて人数を目安としない援助の仕方があるのではないか。

回答：お茶の間に対する助成制度では、基本的に食糧費は対象にしていませんのでご理解ください。対象者数には、利用者だけでなくサービス提供者を含んでいただいております。サービス内容については、健康福祉課、生活支援コーディネーターで相談を受け付けていますので、市の総合事業に則った形としてもやっていただければと思います。

茶の間を去年から開いているが、利用者は高齢の農家ばかりで月に2回以上の開催は人が集ま

らず、田舎はそれが難しい。

回答：将来的に核家族化が進んで家に帰っても誰もいない、飯を作るのも面倒だという時代が来ると思います。茶の間があることによって、一週間に1回、2回だけでもそこでおいしい飯が食えるんだと、それが楽しみで皆さん来られている所もあります。地域でお年寄りを誰が救ってくれるのかということ、5年後10年後も見据えて茶の間を月1回でいいですからやっていただいて、徐々に人が集まってくれば月2回でも、それが総合事業になっていく週1回でも、段階的にしていけばいいと思いますので、これから検討の一つに入れていただきたいと思います。

テーマ外の要望、質問等

剪定枝の有効利用について

剪定枝などを環境にやさしく処理をするため、炭にする器具を

貸し出すという記事が新聞に載っていたが、南区での実施はどうか。また、今までの利用実験の内容を説明してほしい。

回答：最初の年にブロック化である破碎・圧縮して燃料にしようとした。桃と梨の木を両方試しましたが、梨は燃料になる可能性が上がりましたが、梨は燃焼の熱量が上がらず売り物にならない判断であったほか、ブロック化には経費が上回ってしまうことから燃料化を諦めました。

次に堆肥化しようと火力発電の会社と交渉をしたところ、乾燥と一時的な保管場所の問題が出て、今立ち止まっています。

なお、ルレクチェに関しては褐色斑点病の問題があり、処理料金はかかりますが、市の焼却場で受け入れが可能です。炭化器具の実物は小さいものなので、使用するには不十分だと考えています。粉砕機を貸し出し土に返す方法も検討していますが、どれくらい細かくなるのかの検証が必要です。新しい情報が入りましたら皆さんにお伝えしたいと思います。

もみ殻についてはどうか。

回答：千度以上の高温で燃やすことは身体に悪いという結果が出ているので、基本的に漉き込んでもらうことをお願いします。

福島では枝を粉碎して果樹畑に撒き、梨の木がダメになったという事例も聞いている。

回答：知りませんでしたので、少し勉強をさせていただきます。

農地の相続放棄について

高齢化で誰も作り手がいなくなり、相続放棄される農地への対応を考えているか。

回答：南区の農業公社では、放棄地にならないための貸し借り制度があります。そういうことが起きそうな場合はご相談をいただき、条件をお聞きしてリストに掲載します。登録していただくことで、貸し借り、売買といった道はあります。

茨曾根地区 敬老会



9月30日(日)、茨曾根小学校体育館にて敬老会が開催され、茨曾根地区では68名の招待者が出席されました。式典の後には子どもたちの歌や踊り、樽ばやし、相撲甚句などのステージアトラクションがあり、招待者の方々にはにぎやかな雰囲気の中、昼食を食べながら楽しんで頂きました。

今年は新しい試みとして、最後にお楽しみ抽選会が行われました。抽選に当たった方はもちろん、当たらなかつた方にも全員にささやかですが記念になるものが進呈され、終了後には「楽しかった、またやってほしい」と好評の声を多く頂きました。



謝辞は下茨の栗田さん



会場の様子



白根そよ風保育園の子どもたち



太々神楽舞保存会



白根相撲甚句会



お楽しみ抽選会の様子



道滷いきいき広場
代表の細河さん



会場の様子

社会福祉功労者表彰

11月18日(日)、朱鷺メッセにて福祉・介護・健康フェア2018が開催されました。

新潟市社会福祉協議会平成30年度会員のつどいの中で、社会福祉功労者表彰として茨曾根地区からは10年以上の活動をされている東萱場ふれあい元気会(月1回)、道滷いきいき広場(月2回)、清水ふれあい会(月1回)が表彰されました。おめでとうございます。

茨曾根地区自主防災会 自主防災訓練



心肺停止者の救命訓練



ペットボトルを使った、避難所における支援物資の仕分け訓練

11月4日(日)、南区総合防災訓練の実施に併せ、茨曾根地区でも自主防災訓練を実施しました。各地区での避難誘導訓練の後、白南中学校にてAEDや消火器の取扱い、起震車での地震体験等を順番に行ったほか、白南中の生徒さんには



起震車による地震体験訓練



消火器の取り扱い訓練

ペットボトルを支援物資に見立てた仕分け作業と心肺停止者の救命訓練に取り組んでもらいました。年に1回ではありますが、地域全体で協力しあう訓練ができています。災害への大きな備えになっていると思います。



家庭にあるものを使った避難時の活用術紹介。サラダ油を使ったランプの作り方や、非常時におけるアルファ化米の作り方を聞き、またその試食をしました。



白根学習館まつりでの発表



樽ばやし教室



茨曾根小学校での練習風景

今年度は年間14回の練習を行い、5つの発表の場で成果を披露しました。子どもだけでなく保護者や役員など大人も参加し、発表会でも一緒に出演するなど、より一体となって活動できたように思います。

世代間 交流事業

どんど焼き・親子講演会

一月二十六日(土)、世代間交流事業を行いました。

茨曾根小学校体育館では、親子講演会にて「地域の宝 神楽舞体験」をテーマとし茨曾根太々神楽と庚神楽に実演披露して頂いたほか、茨曾根樽ばやしの発表もあり、茨曾根地区の伝統芸能に触れるよい機会となりました。

どんど焼きでは幸い天候状態も良い中での実施となり、小学校の子どもたちをはじめ大人も一緒にするめを焼いたり書き初めを燃やしたりと、賑わっている様子が見られました。

そして、どんど焼き後のふるまい。豚汁、こんにゃく、甘酒、みんな嬉しそうに頂いています。

協力頂いた役員の皆様、大変お疲れ様でした。

するめや書き初めを持って
田んぼに集合



今年も立派な
やぐらが組ま
れました



どんど焼き後の楽
しみ、ふるまい！
豚汁仕込み中です



庚神楽



太々神楽

廃天ぷら油回収にご協力ください

平成 31 年度も引き続き、廃天ぷら油の回収を行います。茨曾根地域生活センターの開館時間であればいつでもお持ちいただいて結構です。玄関を入れてすぐ左手に黄色の旗と青い回収ボックスがありますので、そちらにお入れ下さい。



地域生活センターご利用ください

趣味のサークル、ちょっとした会合などに。2階講堂には卓球台もあります(2台)。

	部屋	料金(1時間あたり)
1階	第1研修室	100円
	調理実習室	100円
2階	第2研修室	50円
	第3研修室	50円
	講堂	100円